

有田史談会 月例通信

史談会ホームページ



大串和夫さんの急逝を悼む

最近まで史談会の活動を共にしてきた大串和夫さんの思い出に残る活動の日々が蘇ります。

坂井勝也さんの後を継いで会長として在籍し史談会をまとめてくれました。坂井さんの後任に吉永登さんを会長にお願いしようと相談したら、無理はさせられないと自分から率先して会長を引き受けてくれました。決して多くは語らず、いつも控えめな態度を貫いて来られました。

8 月には「戦後 80 年の年にあたるから佐世保の防空壕を見学しよう」と意欲的に計画をし会長として会員をリードしてきた大串さん。楽しみにしてきた防空壕見学は幻の計画になり残念でなりません。

年二回の会報発行の時は、大串さんの研究テーマでもあった地元の外尾山の歴史に焦点をあて、石仏等の解明に時間を費やされましたね。会報の投稿は几帳面な性格そのもので、毎回封筒に入れて提出されたことを今でも思い出します。

史談会では役場での知識や経験を活かし、古窯跡の見学など会員へ研鑽の場を広げてもらいました。町の歴史を語る時は自信に満ちておられました。生き字引そのものでした。

毎月の史談会通信への会長挨拶は苦手だから書けないと自ら申し出られましたが、とても謙虚な一面もありました。

大串さん今はどうしておられますか？未だに亡くなったことを受け入れられずにおります。



5/23 名護屋城址博物館の参加が最後となりました

新会長・副会長を決定しました

大串会長の突然の急逝で、しばらくは戸惑い茫然自失の状態でしたが、活動を停滞させることは大串氏の本意ではないはずと考え、新しい会長には鶴 一樹氏に、これまで不在だった副会長には山口信行氏にお願いをして快諾を頂きました。



新会長 鶴 一樹氏



副会長 山口 信行氏

大串氏が病気療養中は会長の変更はせずに、新年度から変更の予定でしたが、坂井相談役とも話し合い 12 月から新体制で史談会の運営を行うことと致しました。史談会のメンバー全員の承認を得る必要もありましたが、事情をご賢察の上どうかご理解を頂きますようお願い致します。



編集長の独り言！

今月は国勢調査で指導員として参加しました。調査員として参加した前回とは違い、8 人の調査員のサポートは修正と集計の事後作業なので、大変な仕事でしたがそろそろ終了の見込みです。中旬はソウル旅行を先月から計画していたので、旅行の事前準備を含め忙しく過ごしました。さすがにこの歳になると動き回る旅行は無理なので、過密なスケジュールを控えてのんびり旅行を満喫しました。

さて、1 月からは新たに鶴 一樹会長の投稿をお願いしていますのでお楽しみに！